

In April 2022, Osaka City University and Osaka Prefecture University merge to Osaka Metropolitan University

Title	2019年フィリピンの地方自治意識調査 (2・完)
Author	西村, 謙一 / 小林, 盾 / 菊地, 端夫 / 永井, 史男
Citation	大阪市立大学法学雑誌. 67 卷 4 号, p.413-438.
Issue Date	2021-03
ISSN	0441-0351
Type	Data or Dataset
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学法学会
Description	
DOI	10.24544/ocu.20220408-001

Placed on: Osaka City University

Osaka Metropolitan University

〈資 料〉

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）

西村謙一／小林 盾
菊地端夫／永井史男

II-6 満足度

自治体のパフォーマンスに対する満足度について、いくつかの観点から尋ねた。

まず、自治体首長に対する評価に関して、問42で市町長への満足度を聞いた。全体的な評価については、7割強が市町長を支持すると答えた。市町長の資質に関しては、強いリーダーシップを評価するとの回答が7割強、人々のニーズに対する応答性を評価するとの回答もやはり7割であった（表6-1）。また、問44でバラングイ長への満足度を尋ねたところ、全般的に見て支持するとの回答が7割5分となり、具体的資質については、強いリーダーシップおよび人々のニーズへの応答性のいずれについても評価するとの回答が7割強となった（表6-2）。総じて、自治体の首長に対する評価では大きなバラツキはみられない。

次に、問46で市・町政府の行政サービスに対する満足度を0（全く満足しない）から10（とても満足している）の11段階で尋ねた。行政サービス全般については3分の2強が6以上の評価をしており、満足度は比較的高い。個別の行政サービスへの評価については、「中小企業への補助金」および「農業、漁業、プランテーション業、林業への指導」の経済サービス2分野に対する満足度が4割台であったが（ただし、これらについては「分からない」として評価を避けた回答が比較的多い）、これ以外は過半数が6以上の評価である。特に満足度が高く7割以上が満足と回答した項目は、「公立小学校・中等学校の設備・サービス」の85.0%を筆頭に、「違法薬物対策」（78.9%）、「災害予防」（78.8%）、「災害対応および復旧」（75.6%）、「市道・町道の整備状況」（74.6%）、「公設市場の整備状況」（70.7%）である。違法薬物対策はドゥテルテ政権の最優先政策で、地方自治体も巻き込んで薬物使用者のリハビリテーションなどを精力的に実施している。また、社会インフラは事業の結果が具体的に目で見えることから人々が成果を認識しやすいのであろう。これらの項目に続いて6割以上が満足と回答した項目は「保健センター、自治体公立病院の設備・サービス」（69.6%）、「ごみ収集・処理」

資 料

表6-1. 現在の市長・町長についてどのように評価していますか？

	A. 私は現在の市長・町長を支持する		B. 市長・町長は強いリーダーシップを持っている		C. 市長・町長は人々の意見を尊重する	
	度数	%	度数	%	度数	%
全く同意しない	51	2.1	49	2.0	51	2.1
同意しない	128	5.3	109	4.5	111	4.6
どちらでもない	417	17.4	442	18.4	493	20.5
同意する	1137	47.4	1160	48.3	1125	46.9
とても同意する	627	26.1	599	25.0	571	23.8
分からない	40	1.7	41	1.7	49	2.0
合 計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

表6-2. 現在のバランガイ長についてどのように評価していますか？

	A. 私は現在のバランガイ長を支持する		B. バランガイ長は強いリーダーシップを持っている		C. バランガイ長は人々の意見を尊重する	
	度数	%	度数	%	度数	%
全く同意しない	50	2.1	46	1.9	38	1.6
同意しない	125	5.2	145	6.0	132	5.5
どちらでもない	385	16.0	467	19.5	436	18.2
同意する	1152	48.0	1099	45.8	1124	46.8
とても同意する	654	27.3	607	25.3	619	25.8
分からない	34	1.4	36	1.5	51	2.1
合 計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

(67.7%), 「就職説明会など就職支援, 生計支援事業」(67.0%), 「営業許可の発行」(64.4%)である。さらに, 「緑化・環境保全」(58.6%), 「汚職防止」(56.5%), 「排水路・灌漑水路の整備状況」(56.3%)も6割近くが満足と回答している(表6-3)。

本調査では, フィリピンが災害多発国であることに鑑みて, 次節(7 個人の情報)において災害経験と各種災害に対する自治体対応への満足度を尋ねた。その結果を本節(6 満足度)で合わせて示す。

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

表6-3. 0から10までの目盛りがあります。0は全く満足しないことを、5はどちらでもないことを、10はとても満足していることを表すものとします。この目盛りをもとにすると、あなたは市・町の次の行政サービスに対して、どのくらい満足していますか？（1/3）

	A. 市・町の行政サービス全般		B. ごみ収集・処理		C. 保健センター、自治体公立病院の設備・サービス		D. 市道・町道の整備状況		E. 公立小学校・中学校の設備・サービス		F. 中小企業への補助金	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0 全く満足しない	15	0.6	96	4.0	51	2.1	28	1.2	4	0.2	97	4.0
1	15	0.6	45	1.9	28	1.2	21	0.9	3	0.1	45	1.9
2	17	0.7	42	1.8	32	1.3	21	0.9	9	0.4	46	1.9
3	33	1.4	59	2.5	47	2.0	42	1.8	23	1.0	90	3.8
4	54	2.3	65	2.7	64	2.7	69	2.9	29	1.2	107	4.5
5 どちらでもない	642	26.8	449	18.7	503	21.0	423	17.6	282	11.8	753	31.4
6	253	10.5	181	7.5	211	8.8	197	8.2	167	7.0	211	8.8
7	317	13.2	274	11.4	324	13.5	360	15.0	303	12.6	254	10.6
8	445	18.5	412	17.2	456	19.0	492	20.5	576	24.0	262	10.9
9	176	7.3	209	8.7	215	9.0	265	11.0	325	13.5	125	5.2
10 とても満足している	427	17.8	548	22.8	464	19.3	476	19.8	668	27.8	237	9.9
分からない	6	0.3	20	0.8	5	0.2	6	0.3	11	0.5	173	7.2
合計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

資 料

表6-3. 0から10までの目盛りがあります。0は全く満足しないことを、5はどちらでもないことを、10はとても満足していることを表すものとします。この目盛りをもとにすると、あなたは市・町の次の行政サービスに対して、どのぐらい満足していますか？ (2/3)

	G. 緑化・環境保全		H. 排水路・灌漑水路の整備状況		I. 農業、漁業、プランテーション業、林業への指導		J. 公設市場の整備状況		K. 汚職防止		K.2 営業許可の発行	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0 全く満足しない	30	1.3	90	3.8	48	2.0	22	0.9	106	4.4	26	1.1
1	26	1.1	49	2.0	32	1.3	15	0.6	47	2.0	24	1.0
2	30	1.3	53	2.2	33	1.4	28	1.2	52	2.2	24	1.0
3	59	2.5	71	3.0	58	2.4	53	2.2	66	2.8	40	1.7
4	57	2.4	99	4.1	69	2.9	60	2.5	89	3.7	55	2.3
5 どちらでもない	591	24.6	538	22.4	632	26.3	487	20.3	618	25.8	590	24.6
6	207	8.6	231	9.6	195	8.1	254	10.6	171	7.1	207	8.6
7	271	11.3	271	11.3	234	9.8	328	13.7	261	10.9	288	12.0
8	321	13.4	354	14.8	281	11.7	473	19.7	315	13.1	360	15.0
9	166	6.9	145	6.0	140	5.8	229	9.5	153	6.4	194	8.1
10 とても満足している	442	18.4	349	14.5	292	12.2	413	17.2	456	19.0	496	20.7
分からない	200	8.3	150	6.3	386	16.1	38	1.6	66	2.8	96	4.0
合 計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

表6-3. 0から10までの目盛りがあります。0は全く満足しないことを、5はどちらでもないことを、10はとても満足していることを表すものとします。この目盛りをもとにすると、あなたは市・町の次の行政サービスに対して、どのぐらい満足していますか？（3/3）

	K.3 就職説明会など就職支援、生計支援事業		K.4 違法薬物対策		K.5 災害予防		K.6 災害対応および復旧	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0 全く満足しない	50	2.1	53	2.2	20	0.8	21	0.9
1	25	1.0	39	1.6	24	1.0	21	0.9
2	31	1.3	24	1.0	13	0.5	19	0.8
3	41	1.7	41	1.7	19	0.8	30	1.3
4	58	2.4	48	2.0	36	1.5	38	1.6
5 どちらでもない	526	21.9	289	12.0	376	15.7	432	18.0
6	193	8.0	139	5.8	163	6.8	159	6.6
7	305	12.7	215	9.0	267	11.1	293	12.2
8	420	17.5	434	18.1	488	20.3	492	20.5
9	200	8.3	262	10.9	263	11.0	239	10.0
10 とても満足している	490	20.4	843	35.1	709	29.5	631	26.3
分からない	61	2.5	13	0.5	22	0.9	25	1.0
合計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

資 料

まず、問52.2で、直近3年間でどのような災害にどのくらいの頻度で遭遇したかを尋ねた。リストで示した災害の種類は、A. 洪水、B. 台風、C. 高潮、D. 地滑り、E. 津波、F. 火山の噴火、G. 地震、H. 建物の崩落・洞窟や鉱山の崩落、I. 火事である。その結果、遭遇した者が最も多い災害は台風で、これに1回以上遭遇した者は46.0%である。次いで洪水が32.0%、地震が22.4%、火事が8.6%である。逆に遭遇した経験のあるものがほとんどいない災害は、津波（遭遇経験者2人）、建物の崩落・洞窟や鉱山の崩落（6人）、高潮（12人）、火山の噴火（41人）、地滑り（71人）である（表6-4）。

表6-4. 現在の住所で、あなたは直近3年の間、次にあげた災害に何回遭いましたか？ もしなければ「0」と記入してください。(1/2)

	A. 洪水		B. 台風		C. 高潮		D. 地滑り		E. 津波	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
ない	1010	42.1	718	29.9	23	1.0	112	4.7	2	0.1
1	282	11.8	384	16.0	9	0.4	46	1.9	1	0.0
2	173	7.2	245	10.2	1	0.0	16	0.7		
3	177	7.4	257	10.7	1	0.0	7	0.3	1	0.0
4	33	1.4	70	2.9	1	0.0	2	0.1		
5	37	1.5	51	2.1						
6	21	0.9	33	1.4						
7	7	0.3	8	0.3						
8	1	0.0	7	0.3						
9	9	0.4	17	0.7						
10	20	0.8	22	0.9						
12	1	0.0	2	0.1						
13	1	0.0								
15	5	0.2	4	0.2						
20			2	0.1						
25			1	0.0						
自分の市・町にはこの災害はない	623	26.0	578	24.1	2365	98.5	2217	92.4	2396	99.8
わからない／無回答			1	0.0						
合計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

表6-4. 現在の住所で、あなたは直近3年の間、次にあげた災害に何回遭いましたか？もしなければ「0」と記入してください。(2/2)

	F. 火山の噴火		G. 地震		H. 建物の崩落、洞窟や鉱山の崩落		I. 火事	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
ない	16	0.7	482	20.1	161	6.7	938	39.1
1	23	1.0	249	10.4	5	0.2	150	6.3
2	13	0.5	147	6.1	1	0.0	23	1.0
3	1	0.0	81	3.4			22	0.9
4	3	0.1	17	0.7			2	0.1
5	1	0.0	22	0.9			5	0.2
6			5	0.2			2	0.1
7			3	0.1				
8			3	0.1				
9			1	0.0				
10			8	0.3			3	0.1
12			1	0.0				
13								
15			1	0.0				
20								
25								
自分の市・町にはこの災害はない	2343	97.6	1379	57.5	2233	93.0	1255	52.3
わからない／無回答			1	0.0				
合計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

資 料

次に、問52.3で、災害に対する自治体対応への満足度を0（全く満足しない）から10（とても満足している）の11段階で尋ねた。その結果、遭遇した者が多い災害（台風、洪水、地震、火事）のいずれについても、満足もしていないし不満足でもないとの回答が最も多かった。また、台風、洪水、火事については「自分の市・町にこの災害はない」および「わからない／無回答」（「システム欠損値」を含む）を除いた回答者のうち6割前後の者が満足している。他方、地震への対応については、満足している者は4割5分にとどまった（表6-5）。

表6-5. 0から10までの目盛りがあります。0は全く満足しないことを、5はどちらでもないことを、10はとても満足していることを表すものとします。この目盛りをもとにすると、あなたは次にあげた直近3年間の市・町政府の災害対応に対して、どのくらい満足していますか？ もしあなたがその災害を経験していなくても、あなたの市・町が経験していれば、それらの災害に対する市・町政府の対応を評価してください。（1/2）

	A. 洪水		B. 台風		C. 高潮		D. 地滑り		E. 津波	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0 全く満足しない	100	4.2	117	4.9	5	0.2	7	0.3	1	0.0
1	34	1.4	31	1.3	2	0.1	3	0.1		
2	27	1.1	32	1.3			3	0.1		
3	49	2.0	47	2.0	1	0.0	4	0.2		
4	60	2.5	41	1.7	2	0.1	5	0.2		
5 どちらでもない	483	20.1	467	19.5	12	0.5	62	2.6		
6	166	6.9	193	8.0	4	0.2	23	1.0		
7	233	9.7	259	10.8	3	0.1	16	0.7	1	0.0
8	282	11.8	301	12.5	2	0.1	26	1.1		
9	109	4.5	118	4.9	2	0.1	8	0.3	1	0.0
10 とても満足している	232	9.7	215	9.0	1	0.0	25	1.0	1	0.0
自分の市・町にはこの災害はない										
わからない／無回答	2	0.1			1	0.0	1	0.0		
システム欠損値	623	26.0	579	24.1	2365	98.5	2217	92.4	2396	99.8
合計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

表6-5. 0から10までの目盛りがあります。0は全く満足しないことを、5はどちらでもないことを、10はとても満足していることを表すものとします。この目盛りをもとにすると、あなたは次にあげた直近3年間の市・町政府の災害対応に対して、どのくらい満足していますか？ もしあなたがその災害を経験していなくても、あなたの市・町が経験していれば、それらの災害に対する市・町政府の対応を評価してください。（2/2）

	F. 火山の噴火		G. 地震		H. 建物の崩落、洞窟や鉱山の崩落		I. 火事	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0 全く満足しない	4	0.2	117	4.9	10	0.4	47	2.0
1	3	0.1	31	1.3	4	0.2	24	1.0
2	3	0.1	38	1.6	2	0.1	15	0.6
3	3	0.1	24	1.0	3	0.1	19	0.8
4	2	0.1	27	1.1			25	1.0
5 どちらでもない	14	0.6	309	12.9	76	3.2	268	11.2
6	3	0.1	93	3.9	23	1.0	96	4.0
7	7	0.3	88	3.7	9	0.4	154	6.4
8	9	0.4	138	5.8	23	1.0	229	9.5
9	4	0.2	46	1.9	3	0.1	91	3.8
10 とても満足している	5	0.2	100	4.2	12	0.5	165	6.9
自分の市・町にはこの災害はない							1	0.0
わからない／無回答			9	0.4	2	0.1	11	0.5
システム欠損値	2343	97.6	1380	57.5	2233	93.0	1255	52.3
合計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

II-7 個人の情報

問48で、階層帰属意識に関して、主観的な基準と照らして現在の生活水準への評価を尋ねた。その結果、中間（「どちらでもない」）が45.1%と最も多く、また、全体的に自らの生活水準を高く評価していることが明らかとなった（表7-1）。自らが属している階級（問49）については、下層中流階級が25.9%、下流階級が15.8%となった。他方で中層中流階級と認識している者の割合は最も高く（50.5%）、上層中流、上流階級と認識している者とあわせて中層中流階級以上に属していると考えている者は過半数の

資 料

58.3%に達する（表7-2）。Albert et al. (n.d.)は、1人当たり収入が貧困線の2倍から12倍の範囲にある者を中間所得層と定義したうえで、PSA がまとめた家計収入・支出統計にもとづいて2015年時点における所得層の分布を示した。それによると、低所得層が58.1%、中間所得層が40.5%、高所得層が1.4%である（Albert et al. n.d.）。本調査は、回答者の認識に基づいた階層帰属を聞いているため、Albert 他が示した所得階層分布とは基準が異なるが、実際の所得レベルに比較すると人々の生活満足度と帰属意識を持つ階層は相対的に高いことがうかがえる。

表7-1. 最下段が0段目で、10段目まで上に続いているはしごを想像してください。最上段の10段目はあなたにとって最高の生活状態を表し、逆に最下段の0段目は最悪の生活状態を意味するものとします。現在のあなたは、このはしごの何段目にいると思いますか？

0 = 想像しうる最も悪い生活

5 = どちらでもない

10 = 想像しうる最も素晴らしい生活

	度 数	%
0 想像しうる最も悪い生活	14	0.6
1	19	0.8
2	44	1.8
3	61	2.5
4	102	4.3
5 どちらでもない	1082	45.1
6	248	10.3
7	242	10.1
8	300	12.5
9	78	3.3
10 想像しうる最も素晴らしい生活	209	8.7
分からない	1	0.0
合 計	2400	100.0

表7-2. あなたは、自分がどの階級に属していると思いますか？

	度 数	%
下流階級	378	15.8
下層中流階級	622	25.9
中層中流階級	1213	50.5
上層中流階級	161	6.7
上流階級	26	1.1
合 計	2400	100.0

問51では回答者およびその家族の学歴について尋ねた。回答者本人の学歴で最も多いのが「高等学校」（35.0%）で、これに「小学校」（24.7%）が続く。中等教育以下と「学校教育の経験なし」を合わせると71.6%にのぼるが、他方で「職業訓練校／短期大学」以上の高等教育を受けた者もおよそ3割に達する。配偶者の学歴もほぼ同様の分布を示す（ただし、高等教育を受けた者は約2割）。親については、父親も母親も最も多いのが「小学校」で、「学校教育の経験なし」を合わせるといずれも6割前後に達し、高等教育を受けた者は1割前後にとどまる。世代が下ることで教育レベルが向上していることがうかがえる（表7-3）。

表7-3. 以下の人たちの最終学歴は何ですか？中退や現在通学中のものを含みます。（それぞれにつき1つだけ回答）

	A. あなた自身		B. いれば夫／妻		C. あなたの父親		D. あなたの母親	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
小学校	593	24.7	412	17.2	1235	51.5	1289	53.7
中等学校	254	10.6	210	8.8	134	5.6	147	6.1
高等学校	839	35.0	663	27.6	507	21.1	539	22.5
職業訓練校／短期大学	235	9.8	194	8.1	73	3.0	49	2.0
大学	428	17.8	311	13.0	186	7.8	160	6.7
大学院修士／博士課程	18	0.8	13	0.5	12	0.5	10	0.4
学校教育の経験なし	33	1.4	21	0.9	194	8.1	179	7.5
その他			576 ¹⁾	24.0	59 ²⁾	2.5	27 ²⁾	1.1
合 計	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0	2400	100.0

注：1) 未婚

2) わからない

資 料

問54では1か月あたりの平均的な世帯収入を、問55では回答者自身の1か月あたりの平均的な収入を聞いた。世帯当たりの平均的な月収は約2万7150ペソである。また、1人当たりの平均月収は約1万200ペソである。PSA が発表している2018年時点の世帯当たり平均年収は31万3000ペソで（PSA 2019）、月平均にすると約2万6000ペソとなるが、本調査の結果はおおむねフィリピンの世帯収入の実態と合致しているといえるだろう。

II-8 インタビュー後記入

問59から問61で、インタビュー終了後に調査員が、回答者の身体的魅力、肌明度、家屋水準を評価した。身体的魅力と肌明度で中間の20%が（表8-1、8-2）、家屋水準で回答者の中で最も貧しい20%の次の20%が（表8-3）、最多となっていた。

表8-1. 回答者はどの程度ハンサム／美人でしたか？ 髪の毛を含めた「顔」についてのみ考えて、服装やスタイルは考慮しないでください。

	度 数	%
回答者の中で最もハンサム／美人でない20%	166	6.9
次の20%	926	38.6
次の20%	1052	43.8
次の20%	226	9.4
最もハンサム／美人な20%	30	1.3
合 計	2400	100.0

表8-2. 回答者の肌はどの程度明るかったですか？

	度 数	%
回答者の中で最も暗い20%	199	8.3
次の20%	958	39.9
次の20%	983	41.0
次の20%	227	9.5
最も明るい20%	33	1.4
合 計	2400	100.0

表 8-3. 回答者の家はどの程度裕福に見えましたか？「家」についてのみ考えて、回答者の収入や職業、（車やテレビ、トイレなどの）所有物については考慮しないでください。

	度 数	%
回答者の中で最も貧しい20%	348	14.5
次の20%	914	38.1
次の20%	888	37.0
次の20%	227	9.5
最も裕福な20%	23	1.0
合 計	2400	100.0

参考文献

Abalos, Jeffrey B. (2017). "Divorce and Separation in the Philippines: Trends and Correlates," *Demographic Research*, Volume 30, Article 50, pp. 1515-1548.

Albert, Jose Ramon G. Ph.D., Angelo Gabrielle F. Santos, and Jana Flor V. Vizmanos (n. d.). "Unmasking the Middle-(income) Class: Profile and Determinants," *Philippine Statistics Authority*, (<https://psa.gov.ph/sites/default/files/1.1.3%20Unmasking%20the%20Middle%20Class%20in%20the%20Philippines%20Aspirations%2C%20Lifestyle%2C%20and%20Prospects%20for%20Sustainable%20Consumption.pdf>) (最終アクセス2020年9月30日)

PSA (2019). "Annual Family Income is Estimated at PhP 313 Thousand, on Average, In 2018," *Philippine Statistics Authority*, (<https://psa.gov.ph/content/annual-family-income-estimated-php-313-thousand-average-2018>) (最終アクセス2020年9月30日)

小林盾, 岡本正明, 長谷川拓也, 籠谷和弘, 西村謙一, 永井史男 (2019) 「資料 2018年インドネシアの地方自治意識調査」『法学雑誌』（大阪市立大学法学会）第65巻第3号 pp. 323-375.

西村謙一, 菊地端夫, 小林盾, 永井史男 (2015) 「資料 フィリピン地方自治体エリートサーヴェイ調査（1）」『法学雑誌』（大阪市立大学法学会）第61巻第3号 pp. 53-96.

（謝辞：本稿の作成にあたっては、京都大学東南アジア地域研究研究所「東南アジア研究の国際共同研究拠点」および科学研究費基盤研究(B)「東南アジア地方自治ガバナンスと住民意識の分析——インドネシア・フィリピンの比較」（課題番号：20H04425）の助成を受けた。）

フィリピン調査票

1. 基礎情報

1. (質問無し)

2. 年齢、生年月日、出身地

A. 年齢	_____
B. 生年月日 (調査員への指示: もし回答者が知らなければ、最低でも生年を聞く)	____年 ____月 ____日
C. 出身地 (市・町)	_____

3. 宗教は何を信じていますか? (調査員への指示: 回答が「キリスト教」の場合、宗派を聞く)

1. イスラーム 2. カトリック 3. プロテスタント 4. ヒンドゥー
 5. 仏教 6. 儒教 7. アニミズム
 9. 土着のキリスト教 (フィリピンのみ): _____
 8. その他: _____

4. (質問無し)

4.2. エスニシティは何ですか?

1. イロカノ 2. タガログ 3. セブアノ 4. ビサヤ
 5. ヒリガイノン 6. ビコール 7. ワライ 8. その他: _____

5. (質問無し)

5.2. 家庭で主に使う言語は何ですか?

1. イロカノ語 2. タガログ語 3. セブアノ語 4. ヒリガイノン語 5. ビコール語
 6. ワライ語 7. タウスグ語 8. フィリピン語 9. パンパンガ語
 10. その他: _____

6. 現在、(存命の) 子供は何人いますか? (調査員への指示: 継子/養子、家とは別の場所に住む子供を含む)

_____人

7. 何人の人が家に住んでいますか? (調査員への指示: 回答者が養子/養父母の場合、すべての養子/養父母関係にある家族成員について聞く)

A. (質問無し)	_____人
B. (質問無し)	_____人
C. 両親、義父母、祖父母、義理の祖父母の数	_____人

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

8. 全部で寝室（通常は人が寝るときに使う部屋）はいくつありますか？（調査員への指示：恒久的な仕切りによって区切られている部屋の数）

_____ 部屋

9. (質問無し)

10. (質問無し)

11. この家の所有状況はどうなっていますか？

1. 自分・家族所有
2. 賃貸
3. その他: _____

- 11.2. この土地の所有状況はどうなっていますか？

1. 自分・家族所有
2. 賃貸
3. その他: _____

12. (質問無し)

13. (質問無し)

14. この市・町にすでに何年間住んでいますか？

_____ 年 _____ 月

15. 身長・体重（調査員への指示：もし回答者が知らなければ、概数を聞く）

A. 現在の身長	_____ cm or _____ ft _____ in
B. 20歳の頃の体重	_____ kg or _____ lbs
C. 現在の体重	_____ kg or _____ lbs

2. 仕事と結婚

- 15.2. あなたは、現在、仕事をしていますか？

1. 仕事をしている、正社員・正規労働者、契約社員・非正規労働者、自営業、家族ビジネスを含む
2. 学生
3. 仕事をしていない、主婦／夫、退職者を含む

16. 以下に述べる人の主な仕事は何ですか（ひとつだけ選択）（調査員への指示：就労時間が最も長い主な仕事）

従業上の地位:

1. 正社員・正規労働者
2. 契約社員・非正規労働者
3. 自営業、家族ビジネス
4. 主婦・主夫
5. 失業中・学生

資 料

	16-1. 具体的に記述	16-2. 従業上の地位	16-3. 管理職か否か	該当なし
A. (質問無し)				
B. 現在のあなたの仕事 【質問15.2に対応】			はい1 いいえ2	
C. あなたの夫・妻の仕事 (もしあれば)			はい1 いいえ2	88 該当者なし
D. あなたが15歳のときの父親の仕事			はい1 いいえ2	88 該当者なし
E. あなたが15歳のときの母親の仕事			はい1 いいえ2	88 該当者なし

17. あなたの配偶者はいますか？ 【質問16Cに対応】

1. 未婚
2. 既婚
3. 離婚
4. 死別
5. 同棲 (フィリピンのみ)

18. あなたはどのようにして最初の夫・妻と出会いましたか？ (もし既婚か婚姻経験があれば) 【質問17に対応】

1. 家族・親族によるお見合い
2. 友達を通じたお見合い
6. 家族・親族による紹介 (フィリピンのみ)
7. 友達による紹介 (フィリピンのみ)
3. 学校で出会った
4. 職場で出会った
8. 教会／モスクでの宗教活動を通じて出会った (フィリピンのみ)
9. 隣人、幼馴染 (フィリピンのみ)
10. 結婚を斡旋する会社やインターネット・サービスを通じて出会った (フィリピンのみ)
11. パーティ、趣味のグループ、ボランティア活動、旅行、街角で出会った (フィリピンのみ)
5. その他、具体的に: _____ (調査員への指示: 最初に会った時の配偶者／パートナーとの関係を聞くこと)
88. 未婚

19. 何歳の頃に、次のような経験をしましたか？

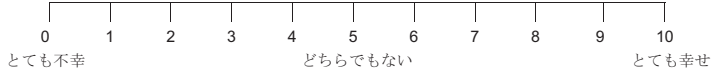
経験・出来事	年齢	該当なし
A. (質問無し)		
B. 最初の仕事開始 (調査員への指示: 15歳以降に就いた最初の主要な仕事)	_____	88 働いたことはない
C. (質問無し)		
D. 最初のデート (現在の夫・妻とのデートも含む)	_____	88 恋人はこれまでにない
E. 初婚【質問17に対応】	_____	88 未婚
F. 最初の子供生誕【質問6に対応】	_____	88 子供なし
G. (質問無し)		
H. (質問無し)		

3. 日常生活

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

20. 0から10までの目盛りがあります。0はとても不幸であることを、5はどちらでもないことを、10はとても幸せであることを表すものとします。この目盛りをもとにすると、現在、あなたはどの程度幸せですか？（調査員への指示：回答者に対して、0から10までの間から選び、0、5、10に集中するのを避けるように伝えること）

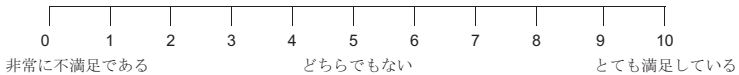
0 = とても不幸
5 = どちらでもない
10 = とても幸せ



21. 問20で上記の数字で評価をした理由は何か？（調査員への指示：複数回答を認めること。要約しないこと）

22. 0から10までの目盛りがあります。0は非常に不満足であることを、5はどちらでもないことを、10はとても満足していることを表すものとします。この目盛りをもとにすると、あなたは以下のさまざまな状況についてどの程度満足していますか？（調査員への指示：回答者に対して、0から10までの間から選び、0、5、10に集中するのを避けるように伝えること）

0 = 非常に不満足である
5 = どちらでもない
10 = とても満足している



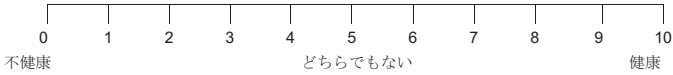
状況	目盛り	
A. 生活全般		
B. 結婚している／いた場合、結婚生活（調査員への指示：同棲を含む。配偶者／パートナーが死亡している場合は、配偶者／パートナーが生きていた時期について考えること） 質問17に対応		88 結婚していない／パートナーがいたことがない
C. 友人		
D. あなたの教育（調査員への指示：公教育以外の教育も含む）		
E. あなたの仕事 質問15.2に対応		88 仕事をしていない
F. あなた自身の収入（仕事をしていない場合も）（調査員への指示：無収入も含む）		
G. 世帯の収入		
H. レクリエーション、趣味		
I. 宗教生活		
J. 近隣		
K. 治安（調査員への指示：地域共同体の治安を指す）		
L. フィリピン社会		

23. 0から10までの目盛りがあります。0は不健康であることを、5はどちらでもないことを、10は健康であることを表すものとします。この目盛りをもとにすると、あなたはどの程度健康ですか？（調査員への指示：回答者に対して、0から10までの間から選び、0、5、10に集中するのを避けるように伝えること）

0 = 不健康
5 = どちらでもない

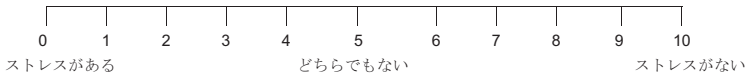
資 料

10 = 健康



24. 0から10までの目盛りがあります。0はストレスがあることを、5はどちらでもないことを、10はストレスがないことを表すものとします。この目盛りをもとにすると、あなたはどの程度ストレスがありますか？(調査員への指示：回答者に対して、0から10までの間から選び、0、5、10に集中するのを避けるように伝えること。時間枠は「過去1週間」)

0 = ストレスがある
5 = どちらでもない
10 = ストレスがない



25. (質問無し)

26. (質問無し)

27. あなたは以下のものをどの頻度で楽しみますか？(調査員への指示：時間枠は「過去数か月」。「楽しむ」は「消費する」という意味)

	毎日	週に2～3回	週に1回	月に1回	月に1回未満	まったく摂取しない
A. コーヒー	5	4	3	2	1	0
B. 茶	5	4	3	2	1	0
C. スイーツ (調査員への指示：スナックを除くこと)	5	4	3	2	1	0
D. 酒	5	4	3	2	1	0
E. タバコ	5	4	3	2	1	0

28. あなたは、仕事をしている典型的な日に (あるいは学校がある典型的な日に) 以下のことを何時に行いますか？仕事をしていない、あるいは、学校に行っていない場合は、典型的な日について答えてください。(軍隊時間を使用してください)

行為	28-1. 何時から	28-2. 何時まで	該当なし
A. 起床			
B. 仕事あるいは学校 (調査員への指示：家と仕事/学校までの移動時間を含む。家事は含まない)			88 (働いていない、学校に行っていない)
C. 朝食			88 (朝食を食べない)
D. 昼食			88 (昼食を食べない)
E. 夕食			88 (夕食を食べない)
F. 就寝			

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

29. あなたは以下の意見に賛成しますか？

意見	強く反対する	反対する	どちらでもない	賛成する	強く賛成する	分からない／無回答
A. ほとんどの人は信頼できる	1	2	3	4	5	99
B. 私は自分の人生を自由に決めることができる	1	2	3	4	5	99
C. 私は都会より田舎の方が好きだ	1	2	3	4	5	99
D. 私は他の国よりもフィリピンが好きだ	1	2	3	4	5	99
E. 現在のフィリピンは、貧富の差が大きすぎる	1	2	3	4	5	99
F. 男は主に稼いで女は家にいるべきだ	1	2	3	4	5	99
G. 恋愛は結婚に結実するべきだ	1	2	3	4	5	99
H. 結婚は出産に帰結するべきだ	1	2	3	4	5	99
H.2. 貧困者はより社会に包摂されるべきだ	1	2	3	4	5	99
H.3. 同性愛者はより社会に包摂されるべきだ	1	2	3	4	5	99

30. 一言あるいは数語で以下の事柄のあなたにとっての意味を表現すればどのようなになりますか？(調査員への指示: 必要であれば回答者に対して「あなたは…と聞いたなら何を思い浮かべますか」と聞くこと。回答者には話したいだけ話をさせること。要約をしないこと)

A. 幸福	
B. 家族	
C. 仕事	

4. ネットワーク

31. あなたは次の団体・組織の活動にどのくらいの頻度で参加していますか？(調査員への指示: 時間枠は「過去3年」。該当がない場合は「全くない」を選ぶこと)

団体／組織	毎日	週に1回	月に1回	半年に1回	半年に1回より少ない	全くない、該当なし
A. 地域の青年団、婦人会、老人会	5	4	3	2	1	0
B. スポーツ、芸術、趣味の団体	5	4	3	2	1	0
C. クレジット組織、金融互助組織	5	4	3	2	1	0
D. (質問無し)	5	4	3	2	1	0
E. 協同組合	5	4	3	2	1	0
F. 農民組織、漁業者組織、商業者組織、トライシクル所有者・運転手組織など	5	4	3	2	1	0
G. (質問無し)	5	4	3	2	1	0
H. 宗教学習会および信徒団体	5	4	3	2	1	0
I. 政党や政党関連組織の活動	5	4	3	2	1	0
J. (質問無し)	5	4	3	2	1	0
K. 近所での親睦会	5	4	3	2	1	0
L. (質問無し)	5	4	3	2	1	0
M. 清掃活動などの奉仕活動	5	4	3	2	1	0

資 料

M.2. 学校の同窓会	5	4	3	2	1	0
M.3. ロータリークラブ、NGO、住民組織（PO）などの市民団体または社会的大義志向団体	5	4	3	2	1	0

32. あなたは次の組織・機関をどのくらい信頼していますか？

組織・機関	全く信頼していない	それほど信頼していない	どちらでもない	ある程度信頼している	とても信頼している	分からない／無回答
A. 中央政府	1	2	3	4	5	99
B. 州政府	1	2	3	4	5	99
C. 市・町政府	1	2	3	4	5	99
D. バランガイ政府	1	2	3	4	5	99
E. 警察	1	2	3	4	5	99
F. 国軍	1	2	3	4	5	99

33. (質問無し)

33.2 あなたは次の人物に昨年どのくらいの頻度で会いましたか（最近12か月間）？

人物	毎日	週に1回	月に1回	半年に1回	それより少ない	全く会っていない	該当なし
A. 住宅所有者組合の役員	5	4	3	2	1	0	88
B. 住宅所有者組合の会長	5	4	3	2	1	0	88
C. バランガイ警察	5	4	3	2	1	0	88
D. バランガイ議員	5	4	3	2	1	0	88
E. バランガイ秘書役	5	4	3	2	1	0	88
F. バランガイ議員を除くバランガイ開発協議会委員	5	4	3	2	1	0	88
G. バランガイ長	5	4	3	2	1	0	88
H. 市／町政府職員	5	4	3	2	1	0	88
I. 市／町政府の首長／助役	5	4	3	2	1	0	88
J. 市／町議会議員	5	4	3	2	1	0	88
K. 市／町議会議員を除く市／町開発協議会委員	5	4	3	2	1	0	88
L. 神父・牧師／宗教指導者	5	4	3	2	1	0	88
M. 住民組織（PO）／非政府組織（NGO）のスタッフ	5	4	3	2	1	0	88
N. 警察官	5	4	3	2	1	0	88

34. (質問無し)

34.2 最近6年間（2013年1月以降）で、あなたは次の行事にどのくらいの頻度で参加しましたか？（調査員への指示：該当がない場合は「全くない」を選ぶこと）

行事	年1回以上（フィリピンのみ）	毎年	6年に4、5回	2年に1回	6年に1、2回	全くない、該当なし

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

A. 地区（purok）*レベルの会議	6	5	4	3	2	1
B. バランガイレベルの会議（バランガイ会議）	6	5	4	3	2	1
C. 清掃・緑化運動や祭りなど、地方自治体主催の催し	6	5	4	3	2	1

*：地区（purok）は、バランガイ内の区画。バランガイのように選挙で指導者が選出される政治単位ではないが、バランガイ内でのサービスや情報などの提供単位として機能する。

5. 地方自治体と政治

35. 次の意見に同意しますか？

意見	全く同意しない	同意しない	どちらでもない	同意する	とても同意する	分からない／無回答
A. 私は政治に興味をひかれる	1	2	3	4	5	99
B. 私は市／町の予算を気にしている（調査員への指示：予算 = 財政事情）	1	2	3	4	5	99
C. 私はバランガイの予算を気にしている（調査員への指示：予算 = 財政事情）	1	2	3	4	5	99
D. 政治において、強いリーダーシップは住民の積極的な参加よりも重要だ	1	2	3	4	5	99

36. （質問無し）

37. （質問無し）

37.2 2016年の大統領選挙ではどの候補に投票しましたか？

1. ドゥテルテ
2. ロハス
3. ボー
4. ビナイ
5. その他、具体的に：_____
88. 投票していない／白票／有権者登録をしていない
99. 答えない／秘密

37.3 2016年の副大統領選挙ではどの候補に投票しましたか？

1. カエタノ
2. ロブレド
3. エスクデロ
4. マルコス
5. その他、具体的に：_____
88. 投票していない／白票
99. 答えない／秘密

資 料

38. 直近の選挙において、あなたが選んだ候補は当選しましたか？

地方首长選挙	はい	いいえ	投票していない／白票 ／有権者登録をしてい ない	該当なし (マニラ首都圏の み)
A. 州知事選挙	1	0	88	99
B. 市長・町長選挙	1	0	88	
C. バランガイ長選挙	1	0	88	

39. (質問無し)

39.2 選挙（大統領、議員、州知事、市／町長、バランガイ長）に当選するための戦略として、その候補者を選ぶようにお金や品物を渡す候補者自身やその支援者がいます。あなたは、そうした贈与は当然のものとして受け取ることができますか？

1. 当然のものとして受け取ることができる
2. ある程度は受け取ることができる（フィリピンのみ）
3. あまり受け取ることができない（フィリピンのみ）
4. 受け取ることができない

40. 次のそれぞれの直近の選挙において、あなたは選挙運動期間中に特定の候補者を選ぶようにお金または品物の申し出をされたことがありますか？（複数回答可）

1. 大統領候補
10. 副大統領候補（フィリピンのみ）
11. 上院議員候補（フィリピンのみ）
12. 下院議員候補（フィリピンのみ）
2. 州知事候補
3. 市長・町長候補
4. バランガイ長候補（フィリピンのみ）
6. 州議会議員候補
7. 市町議会議員候補
13. バランガイ議会議員候補（フィリピンのみ）
8. 申し出をされたことはない
99. 分からない、答えたくない

41. (質問無し)

41.2 あなたは直近12か月の間に、次にある事項についての告知を市／町政府から受け取ったことがありますか？
(調査員への指示：広報板で見ることを含む)

	はい	いいえ
A. 道路の補修	1	0
B. 土地および固定資産税	1	0

6. 満足

42. 現在の市長・町長についてどのように評価していますか？

意見	全く同意し ない	同意しない	どちらで もない	同意する	とても同意 する	分からない
A. 私は現在の市長・町長を支持する	1	2	3	4	5	99
B. 市長・町長は強いリーダーシップを持っている	1	2	3	4	5	99

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

C. 市長・町長は人々の意見を尊重する	1	2	3	4	5	99
---------------------	---	---	---	---	---	----

43. 上記Aの項目において、なぜそのような評価となったのですか？（調査員への指示：複数回答を認めること。要約しないこと）

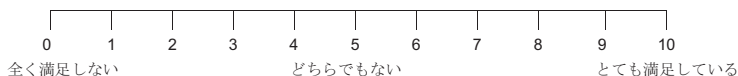
44. 現在のバラングイ長についてどのように評価していますか？

意見	全く同意しない	同意しない	どちらでもない	同意する	とても同意する	分からない
A. 私は現在のバラングイ長を支持する	1	2	3	4	5	99
B. バラングイ長は強いリーダーシップを持っている	1	2	3	4	5	99
C. バラングイ長は人々の意見を尊重する	1	2	3	4	5	99

45. 上記Aの項目において、なぜそのような評価となったのですか？（調査員への指示：複数回答を認めること。要約しないこと）

46. 0から10までの目盛りがあります。0は全く満足しないことを、5はどちらでもないことを、10はとても満足していることを表すものとします。この目盛りをもとにすると、あなたは市・町の次の行政サービスに対して、どのぐらい満足していますか？（調査員への指示：回答者に対して、0から10までの間から選び、0、5、10に集中するのを避けるように伝えること。時間枠は「過去3年間」）

- 0 = 全く満足しない
- 5 = どちらでもない
- 10 = とても満足している
- 99 = 分からない



行政サービス	番号	分からない
A. 市・町の行政サービス全般		99
B. ごみ収集・処理（調査員への指示：ごみを収集し処理すること）		99
C. 保健センター、自治体公立病院の設備・サービス		99
D. 市道・町道の整備状況		99
E. 公立小学校・中等学校の設備・サービス		99
F. 中小企業への補助金		99
G. 緑化・環境保全		99
H. 排水路・灌漑水路の整備状況		99
I. 農業、漁業、プランテーション業、林業への指導		99
J. 公設市場の整備状況		99
K. 汚職防止		99
K.2 営業許可の発行		99

資 料

K.3 就職説明会など就職支援、生計支援事業		99
K.4 違法薬物対策		99
K.5 災害予防		99
K.6 災害対応および復旧		99

47. (質問無し)

7. 個人の情報

48. 最下段が0段目で、10段目まで上に続いているはしごを想像してください。最上段の10段目はあなたにとって最高の生活状態を表し、逆に最下段の0段目は最悪の生活状態を意味するものとします。現在のあなたは、このはしごの何段目にいると思いますか？ (調査員への指示: 回答者に対して、0から10までの間から選び、0、5、10に集中するのを避けるように伝えること)

0 = 想像しうる最も悪い生活

5 = どちらでもない

10 = 想像しうる最も素晴らしい生活

10	10 = 想像しうる最も素晴らしい生活
9	
8	
7	
6	5 = どちらでもない
5	
4	
3	
2	0 = 想像しうる最も悪い生活
1	
0	

49. あなたは、自分がどの階級に属していると思いますか？

1. 下流階級
2. 下層中流階級
3. 中層中流階級
4. 上層中流階級
5. 上流階級

50. 質問49で、あなたがその選択肢を選んだ理由は何ですか？ (調査員への指示: 複数回答を認めること。要約しないこと)

51. 以下の人たちの最終学歴は何ですか？ 中退や現在通学中のものを含まず。(それぞれにつき1つだけ回答)

1. 小学校
2. 中等学校
3. 高等学校
4. 職業訓練校／短期大学
5. 大学
6. 大学院修士／博士課程
7. 学校教育の経験なし

	学歴 (通学中を含む)	該当なし
A. あなた自身		

2019年フィリピンの地方自治意識調査（2・完）（西村・小林・菊地・永井）

B. いれば夫/妻 (調査員への指示: 現在の夫/妻) 質問 17に対応		88 未婚
C. あなたの父親		
D. あなたの母親		

52. (質問無し)

52.2 現在の住所で、あなたは直近3年の間、次にあげた災害に何回遭いましたか？もしなければ「0」と記入してください。

52.3 0から10までの目盛りがあります。0は全く満足しないことを、5はどちらでもないことを、10はとても満足していることを表すものとしします。この目盛りをもとにすると、あなたは次にあげた直近3年間の市・町政府の災害対応に対して、どのくらい満足していますか？もしあなたがその災害を経験していなくても、あなたの市・町が経験していれば、それらの災害に対する市・町政府の対応を評価してください。（調査員への指示: 回答者に対して、0から10までの間から選び、0、5、10に集中するのを避けるように伝えること）

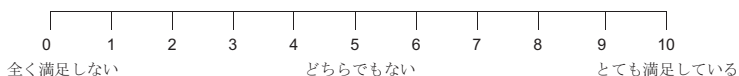
0 = 全く満足しない

5 = どちらでもない

10 = とても満足している

88 = 自分の市・町にはこの災害はない

89 = わからない



災害	52.2 直近3年間の発生回数	52.3 番号	52.3 該当なし
A. 洪水			88 (自分の市・町にはこの災害はない)
B. 台風			88 (自分の市・町にはこの災害はない)
C. 高潮			88 (自分の市・町にはこの災害はない)
D. 地滑り			88 (自分の市・町にはこの災害はない)
E. 津波			88 (自分の市・町にはこの災害はない)
F. 火山の噴火			88 (自分の市・町にはこの災害はない)
G. 地震			88 (自分の市・町にはこの災害はない)
H. 建物の崩落、洞窟や鉱山の崩落			88 (自分の市・町にはこの災害はない)
I. 火事			88 (自分の市・町にはこの災害はない)
J. その他、具体的に _____			88 (自分の市・町にはこの災害はない)

資 料

53. (質問無し)

54. 1か月あたりの平均的な世帯収入はいくらですか？ (調査員への指示: 税金を含む粗所得。おおよその計算を認めること)

_____ペン

55. あなた自身の、1か月あたりの平均的な収入はいくらですか？ (調査員への指示: 税金を含む粗所得。おおよその計算を認めること)

_____ペン

56. (質問無し)

57. あなたにとって、AやBに該当する人たちは何人いますか？ (調査員への指示: 必要であればカード使用も認める)

カテゴリー	人数
A. 15歳以後現在まで (結婚経験がある場合は最初の結婚まで) にいたボーイフレンド / ガールフレンド (配偶者を含む)	_____
B. 15歳以後現在まで (結婚経験がある場合は最初の結婚まで) に恋愛的なキスをしたことがある相手 (配偶者を含む) 質問19Dに対応	_____

ありがとうございました！

58. インタビュー終了時刻 (軍隊時間形式)

_____ : _____

8. インタビュー後記入

インタビュアーによる回答

59. 回答者はどの程度ハンサム／美人でしたか？ 髪の毛を含めた「顔」についてのみ考えて、服装やスタイルは考慮しないでください。

1. 回答者の中で最もハンサム／美人でない20%
2. 次の20%
3. 次の20%
4. 次の20%
5. 最もハンサム／美人な20%

60. 回答者の肌はどの程度明るかったですか？

1. 回答者の中で最も暗い20%
2. 次の20%
3. 次の20%
4. 次の20%
5. 最も明るい20%

61. 回答者の家はどの程度裕福に見えましたか？ 「家」についてのみ考えて、回答者の収入や職業、(車やテレビ、トイレなどの) 所有物については考慮しないでください。

1. 回答者の中で最も貧しい20%
2. 次の20%
3. 次の20%
4. 次の20%
5. 最も裕福な20%